

令和2年度 授業改善推進プラン〈美術科〉

大田区立大森第十中学校

○美術科における令和元年度授業改善プランの検証

■取り組みにおける成果

前年度の改善のポイントの中で、特に意識的に個別指導の時間を多く取ることに重点をおいて実践を行った。評価に結びつけるにはどのように作品の制作を進めるとよいのか、また身に付けてほしい技能、知識について、各授業で繰り返し説明することで、目的意識を高め、課題に取り組む意欲を強くもたせる指導を行った。

個別に作品修正の指示を細かく出していくうちに、生徒自身の作品の完成度が高くなっていくのと並行して、どの生徒も概ね前向きに持続して取り組むようになり、意欲・態度の改善に成果が見られた。発想・構想力についても肯定的な評価と、一人一人との細かいやりとりを心がけたところ、以前より工夫やアイデアに幅が感じられるようになった生徒が増えた。

■今後の課題

観点①〈美術への関心・意欲・態度〉

課題→よりよいものを創ろうとする意欲の引き出し方。
→限られた時間内での制作で達成感がもてるような題材や表現方法の工夫と精選。

観点②〈発想・構想の能力〉

課題→各生徒がもつ表したいもののイメージの広げ方、具体化の方法、構想の深め方。

観点③〈創造的な技能〉

課題→表現の基礎となるデッサン力と、応用表現への発展のさせ方。
→作品の完成度を高めさせる＝達成感のもたせ方。

観点④〈鑑賞の能力〉

課題→毎時間、一つの作品を鑑賞する“週観アート”を継続させる。
→鑑賞を通して感じたことを言葉で表現する。

○検証に基づいた授業改善のポイント

- ① 達成感・充実感・自己肯定感 … 〈美術への関心・意欲・態度〉
→生徒が興味をもち意欲的に取り組みやすい題材の工夫。
→個別指導の充実と肯定的な評価。「何が評価の対象となるのか」
- ② イメージ力 … 〈発想・構想の能力〉
→自己の作品イメージを明確にしやすい教材の工夫と活用。
→アイデアを生み出すための資料整備と各自の収集資料の活用の仕方。
- ③ 小学校図画工作科との連携の重視 … 〈創造的な技能〉
→制作毎に課題の明確化、基礎技術の練習方法の工夫。
→実演を多く取り入れて、書画カメラで具体的に示す等、個別指導の充実。
- ④ 鑑賞題材の充実 … 〈鑑賞の能力〉
→様々な表現方法について考えさせ、理解させる工夫。
→視聴覚資料や機器の活用。

○美術科の授業改善策

■ポイント①について 《美術への関心・意欲・態度》

- 1 学年…図工から美術の表現領域『絵画・彫刻』『デザイン・工芸』への関連やステップアップを示し、学習段差を減らす。
- 2 学年…表現領域を絞って制作時間を確保し、表現活動を深めさせていく。
- 3 学年…作品の大きさを限定して、集中して制作させることで完成度を上げさせる。

■ポイント②について 《発想・構想の能力》

- 1 学年…自己の作品イメージを明確にしやすくする教材を工夫し、活用させる。
- 2 学年…素材や技法の特性を生かした発想表現ができるよう、新しい題材を取り入れる。
- 3 学年…自己表現のためのイメージ資料収集を充実させ、活用しやすく整備する。

■ポイント③について 《創造的な技能》※全学年において実演指導を個々に取り入れる。

- 1 学年…小学校での学習内容の流れを踏まえ、材料や用具の基本的な使い方の反復練習を増やす。
- 2 学年…意図に応じた表現方法ができるよう、制作内容を確認しながら定着度を把握する。
- 3 学年…画材や技法等、表現を試行錯誤させる中で応用力や造形性を身に付けさせる。

■ポイント④について 《鑑賞の能力》

全学年共通…各学年の鑑賞作品の他、授業の始めに毎週1点の作品を鑑賞させ、多くの作品に触れる機会をつくる。